

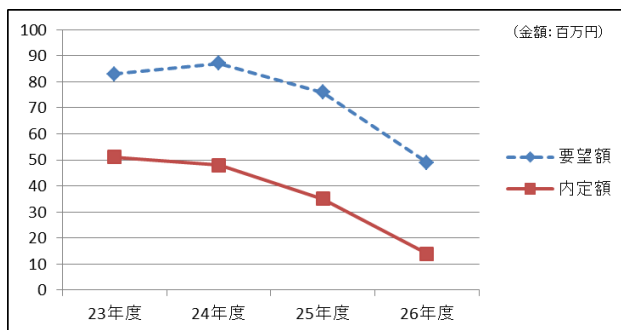
【公益】社会福祉・高齢者

1. 補助の目的・概要

社会福祉の増進を目的とする事業の中で、主として老人福祉法の範囲となる高齢者福祉の分野については、2000年に介護保険制度が始まり、高齢者福祉分野の多くは公的保険により手当てされるようになるなど、高齢者を取り巻く環境は変化している。

平成24年度の公益事業振興補助においては、お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動を行う福祉事業について、支援した。

2. 補助実績（件数・金額）



年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数 [※] (件)	内定額 [※] (百万円)
23年度	10	83	7	51
24年度	9	87	8	48
25年度	10	76	8	35
26年度	9	49	5	14

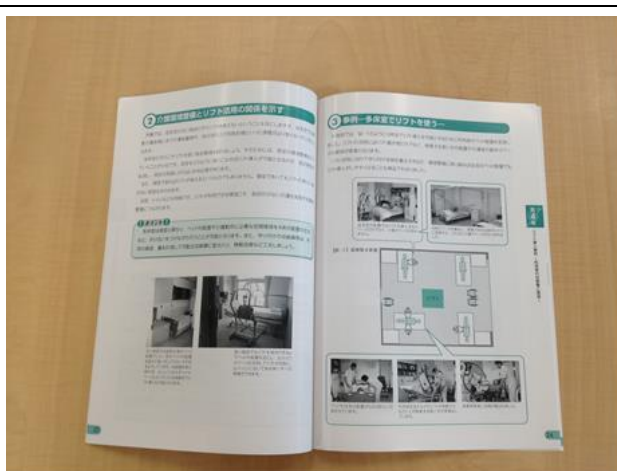
※辞退となった事業を除く

平成24年度においては、9件8,718万円の補助要望があり、そのうち8件4,763万円の支援を行った。なお、8件の内定事業のうち、1件の計画変更があった。

3. 補助事業の事例

(N)日本介護支援協会

介護現場における介護機器、特にリフト導入を促し、介護職、利用者ともに負担のない介護をすすめるため、リフト導入の障害となる空間、設備、手順等について調査・研究し、提案を行う事業に支援を行った。



(N) ペッツ・フォー・ライフ・ジャパン

高齢者の単身世帯の急増と地域社会や家族関係の希薄化が進む中、ペットを家族とすることでぬくもりや生きがいを求める高齢者が治療に専念でき、再び愛するペットと共に元気で暮らせるようにするため、高齢飼い主の入院、自宅療養、リハビリ時などに、ペットを一時的に預かり、世話を代行する事業に支援を行った。



4. 補助事業の成果等

(N) 日本介護支援協会の行う、お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動に支援を行った。この事業は、介護現場における介護機器特にリフト導入を促進させるため、リフト導入の障害となる空間、設備、手順等について提案を行う事業であり、平成24年度に実施した調査では実際に介護機器を導入している施設における有効性を証明し、成功事例として紹介した。リフト導入に向けて助成制度が整備されるなど、介護労働の負担軽減に向けた取り組みが進められているが、現場ではリフト導入に関して否定的な意見も少なくない。提案では、法人として検討を始めるところから導入の具体化に向けてのポイントまでわかりやすくまとめられた。

この他、(N) ペッツ・フォー・ライフ・ジャパンの行う高齢飼い主のペット一時預かり事業に支援を行うなど、高齢者が生きがいをもって幸せに暮らす一助となった。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象10件(1補助事業で複数項目を評価していることがあるため、前段『2. 補助実績』の件数とは異なる)のうち、5段階評価で、評価4[比較的高い]が8件、評価3[ほぼ問題ない]が2件であった。

事業者の自己評価等を踏まえJK Aで評価を行ったところ、A++[極めて高い]が1件、A+[比較的高い]が7件、A[概ね十分]が2件と、すべての事業で事前に計画していた事業の目標は達成され、事業の広報状況も概ね十分とする水準を満たしていたと評価している。

なお、事業の促進要因として、地域の状況に精通している者が多くの記事執筆を担うことで、各地の行政をはじめ、住民ニーズの情報を素早く収集して掲載することができ、充実した誌面づくりにつながったこと、それにより旅費・謝金などの経費節減につながったことが挙げられていた。